

背丈（せいたけ）だんご

昔むかし、上羽生村と言われた時代から語り伝えられて来たお話です。

栄町（西四丁目）に丸く小高い塚の上に保呂羽堂（通称オグラさま）というお堂があります。

これは、北条勢に破れた鎌倉時代の代表的な武将である和田義盛とその一堂の慰霊のために七百六十年ほど前に建てられたといわれています。

ここは昔から着物の袖ではなをこすりながら、はだしでお堂のまわりをかけめぐったり……。子供達の遊び場でした。

オグラ様はセキの神様といわれています。子供が百日咳などにかかると、その子の背丈ほどにつくった竹串の上と下にダンゴをさして奉納すると、不思議にセキが治まるといいます。

現代のように予防注射がない時代でしたから、村人達の喜びが目につるようです。

今日では背丈だんごは姿を消しましたが、四月十四日のお祭りには「ダンゴ」が配られます。

